

令和 4 年 3 月 22 日

都道府県学体連 会長 様

公益財団法人 日本学校体育研究連合会

会 長 友添 秀則

(公印省略)

令和 4 年度 全国学校体育研究最優秀校・優良校・功労者の推薦について(依頼)

年度末を迎え、貴職には益々御多忙のことと存じます。

さて、本会では、本年も学校体育研究最優秀校・優良校・功労者の表彰を実施致します。

つきましては、表彰要項を御参照の上、下記により御推薦下さるようお願い致します。

なお、貴都道府県学体連事務局におかれましては、都道府県教育委員会と十分に連携をされ、お進め下さるようお願い申し上げます。

また、別途各都道府県教育委員会学校体育主管課長様都道府県学体連会長宛にも、同文書を送付しております。

記

1 推薦方法

(1) 別添、表彰要項による。

(2) 県学体連に推薦委員会を設置し、委員会として推薦する。

提出期限 令和 4 年 6 月 27 日(月)

※御推薦にあたっては、この文書の末尾の「お願い」(1)、(2)に御理解をお願い申し上げます。

2 送付文書

(1) 表彰要項

(2) 都道府県推薦委員会委員名簿 別紙様式 1 1部

体育授業優秀教員推薦委員を兼ねてもよい

(3) 最優秀校・優良校・功労者推薦一覧 別紙様式 2 1部

(4) 推薦書作成時の注意事項 別紙様式 3 1部

(5) 最優秀校推薦書(記載例を兼ねる) 別紙形式 1 1部

(6) 優良校推薦書(記載例を兼ねる) 別紙形式 2 1部

(7) 功労者推薦書(記載例を兼ねる) 別紙形式 3 1部

(8) 表彰に関する推薦の数((8)-①)と日程((8)-②) 各1部

(9) 最優秀校・優良校・功労者表彰推薦に関するチェックリスト 1部

3 提出文書

上記 2 の(2)及び、(3)、(5)、(6)、(7)並び(9)書式による推薦書。

※最優秀校については、実績が証明できる研究紀要等の審査資料も別途提出する。(表彰要項の第(6)参照)

※時折学校名、功労者様名の間違いがございます。表彰状に記載する名称であることを念頭において頂きご記入の際には今一度ご確認くださいませようをお願い致します。

4 提出方法

下記により、電子文書または、ファクシミリ送付、郵送による。

	電子データ送付	ファクシミリ送付	用紙郵送
(2) 別紙様式 1 (要署名)	PDF	可	可
(3) 別紙様式 2	Word または PDF	可	可
(5) 別紙形式 1	Word	不 可	不 可
(6) 別紙形式 2	Word	不 可	不 可
(7) 別紙形式 3	Word	不 可	不 可
(9) チェックリスト	Word または PDF	可	可

期限:令和 4 年 6 月 27 日(月)必着

5 表彰式(予定)

令和 4 年 11 月 10 日(木) 第 61 回全国学校体育研究大会 全体会場

大津市民会館 〒520-0042 大津市島の関14-1 TEL 077-525-1234

6 被表彰者の経費負担(研究資料集代、大会参加費)の事前同意について(表彰要項第 8 参照)

- (1) 被表彰者顕彰の為に作成する「研究資料集」の作製実費の一部3,000円の御負担をお願いしております。
また、本件につきましては、予め受賞候補校(者)に説明、御同意頂いた上で、御推薦くださるようお願い致します。「研究資料集」は 10 月中旬ごろ、被表彰校(者)宛に発送致します。同封の振込用紙で、学体連本部宛にお振り込みください。
- (2) 大会参加費 5,000 円(予定)は旅行者:東武トップツアーズ社を通じて開催県への振込になります。
表彰式御出席の場合も大会参加費の納入が必要です。表彰式の御案内は 9 月上旬に致します。

学体連 連絡先

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1
国立オリンピック記念青少年総合センター内
E-mail gakutairen@msb.biglobe.ne.jp
電 話 03-3465-3954
F A X 03-3465-7464

「全国学校体育研究最優秀校（文部科学大臣賞）」及び「全国学校体育研究優良校」並びに「全国学校体育研究功労者」の表彰に関する要項

公益財団法人日本学校体育研究連合会

令和元年 11 月 30 日評議員会決議

令和 2 年 3 月 13 日理事会決議

令和 2 年 12 月 4 日理事会決議

令和 3 年 7 月 9 日理事会決議

令和 3 年 10 月 22 日理事会決議

第 1 表彰の名称

- (1) 文部科学大臣賞（全国学校体育研究最優秀校表彰）
- (2) 全国学校体育研究優良校表彰
- (3) 全国学校体育研究功労者表彰

第 2 表彰主体

- (1) 文部科学大臣賞（全国学校体育研究最優秀校）の表彰

文部科学大臣

推薦主体：公益財団法人日本学校体育研究連合会

- (2) 全国学校体育研究優良校の表彰

公益財団法人日本学校体育研究連合会

後援：スポーツ庁

- (3) 全国学校体育研究功労者の表彰

公益財団法人日本学校体育研究連合会

後援：スポーツ庁

第 3 趣旨

公益財団法人日本学校体育研究連合会（以下、「本会」と言う）は、「学校体育」^{注1}の発展に顕著な業績をあげた学校並びに体育指導者を表彰し、これからの学校体育の発展に寄与することを目的に本表彰要項を定める。

注 1；本要項で用いる「学校体育」とは、本会定款第 3 条に定める「幼稚園の健康領域、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の体育科・保健体育科」のことを指す。

第 4 表彰の対象

幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、ないしは、前記諸学校や教育関係行政機関に所属する教員等で、学校体育の研究と実践を継続し、顕著な成果・功績を上げた学校及び指導者とする。

第 5 選考の条件（以下の要件を満たさない場合は表彰対象になりません。）

- 1 全国学校体育研究最優秀校（文部科学大臣賞）の選考基準（以下、最優秀校と言う）

- (1) 優良校の中から選出し、文部科学大臣に推薦するものとする。
- (2) 優良校としての推薦条件を全て満たしていること。
- (3) 当該年度及びそれ以前の過去 3 年以内の優良校を対象とする。
- (4) 当該年度も含め、3 年以上にわたって学校体育に関する特段優れた実践・研究を行い、その研究成果を既に公表していること。

- (5) 3年以上の研究期間には、期間の一部に「研究推進校」等の指定を受けていない自主研究期間を含めることができる。
- (6) 3年間の研究期間における各年度の研究実践の実績が証明できる研究紀要ほか、選考の参考となる資料を提出する。
- (7) 上記(6)の紀要等は、研究発表会や説明会が開催されたことが分かる資料を含む。

2 全国学校体育優良校の選考基準（以下、優良校と言う）

- (1) 「学校体育」^{注1}の趣旨・目的を踏まえ、自校の指導に成果を上げるとともに、県や地域の学校体育の推進に貢献している。
- (2) 「学校体育」^{注1}に関する調査や研究が、表彰を受けようとする年度を含め2年以上にわたり継続的に行われている。また、1実践のみではなく、研究の概要や全体像がみられるよう研究期間における研究計画やその変容を記すこととする。優良校の研究の有効期間は、当該年度を含め、それ以前の3年目を最終年度とする研究を実践していた学校も対象とする。
- (3) 過去に受賞したことのある学校においては、最終の受賞後満10年以上が経過していること。
- (4) 個人としての研究実践ではなく、組織的に研究実践に努めている。
- (5) 「体育に関する指導」^{注2}が学校教育全体として計画的に行われ、その効果を上げている。

注2；幼稚園教育要領、小・中・高等学校の学習指導要領第1章総則に示されている「体育」や「健康」に関する指導については、学校教育全体を通して指導するとの趣旨を踏まえた研究実践であること。

- (6) 研究実践については、原則学習指導要領解説書に準ずるが、地域の特色を生かした種目（「なぎなた」「スキー」等）も審査対象とする。

3 全国学校体育功労者の選考基準（以下、功労者と言う）

- (1) 学校体育の研究・実践に精励しその成果を上げるとともに、人格・識見に優れ、県内、地域において模範となる者。
- (2) 常勤職員として学校体育に20年以上携わり且つ満55歳以上（推薦年度末の年齢）の者とする。
- (3) 退職者を推薦対象に含めることができる（退職年度以降3年以内とする）
- (4) 故人の推薦は、推薦年度内に逝去された場合に限る。
- (5) 大学教員としての職歴が主となる者については、表彰の趣旨（本要項第4の規程）に照らし対象外とする。
- (6) 運動部活動は学校教育の一環であり、その指導実績・貢献は推薦理由を構成し得るが、著しくこれのみに偏することなく体育科・保健体育科教育並びに学校体育への功績に基づくこととする。この条件を満たさない場合は、表彰の対象外となる。
- (7) 幼稚園・保育園については、幼児の運動指導や身体能力活性化を推進する視点から、幼稚園教育要領の健康領域について功績のある人を、積極的に推薦する。

第6 推薦の手続き

1 推薦委員会の設置

各都道府県（以下、各県と言う）の本会加盟団体は、県教育委員会と協議の上、推薦委員会を設置し、本推薦要項に基づき推薦委員会として最優秀校・優良校・功労者の候補を本会に推薦する。

なお、本推薦委員会にて、体育授業優秀教員の推薦を行うことができるものとする。

2 推薦書の提出

加盟団体は、最優秀校、優良校、功労者候補の推薦に当っては、以下の(1)～(5)の文書を作成し、本

会会長宛に提出する。

- (1) 当該都道府県推薦委員会名簿 (別紙様式 1) 1 部
- (2) 文部科学大臣賞 (全国学校体育研究最優秀校)・優良校・功労者推薦一覧 (別紙様式 2) 1 部
- (3) 文部科学大臣賞 (全国学校体育研究最優秀校) (当該校がある場合のみ) (別紙形式 1) 1 部

- ① 全国学校体育研究最優秀校 (文部科学大臣賞) 候補校推薦書及び優良校推薦書をともに提出する。

過去 3 年以内の優良校受賞校を最優秀校に推薦する場合は、優良校としての推薦書は必要としない。その場合、推薦一覧 (別紙様式 2) に優良校受賞年度を必ず記入する。

- ② 優良校推薦書 (別紙形式 2) 各 1 部
- ③ 功労者推薦書 (別紙形式 3) 各 1 部

(4) 推薦書作成上の留意事項

- ① 別紙様式 3『推薦書作成時の注意事項』に則り、別紙形式 1『文部科学大臣賞 (全国学校体育研究最優秀校)』、別紙形式 2「優良校」、別紙形式 3『功労者』に上書きする。なお、別紙形式は、学体連ホームページ『事務局だより』に掲載する。
- ② 推薦書はそのまま「研究資料集」の原稿として印刷・製本し、全国に配布される。推薦文書の表記に関する責任は、推薦委員長に帰属するものとする。
- ③ 推薦書類の不備が著しい場合および学校体育研究の功績にかかわる表彰の趣旨にそぐわない場合は、選考会の判断により再提出を求めたり、選考の対象から除外したりする場合もある。
- ④ 異校種間での合同研究について
幼小、小中、中高校等、異なった学校種別による合同研究の場合は、共通の研究主題であっても、学校種別の特性や実態を踏まえ、それぞれの具体的な研究内容を明記すること。複写されたり、類似する表現が繰り返し用いられたりしている場合は、選外となる場合もある。
- ⑤ 保健領域・保健分野・科目保健の授業のみの内容は選外となる場合もある。
- ⑥ 体育授業に関する記載が希薄で、運動部活動のみの指導実績は、表彰の選外となる場合もある。
- ⑦ 民間教育研究団体における活動実績は、推薦書に記載しない。
- ⑧ 外部から招聘した講師の所属や氏名は記さない。また、特定の会社名や団体名も記さない。
なお、書名、著者名は、その限りではない。優良校推薦書に記載される校長名は、現在の校長名とする。
- ⑨ 女性の被推薦者が少ない状況にあり、表現・ダンス領域をはじめ、多様な分野、領域を視野に入れた推薦について御配慮願いたい。
- ⑩ 養護教諭の表彰については、別の表彰制度があることを承知されたい。

(5) 推薦数

- ① 最優秀校の推薦数は、各都道府県 1 校までとする。文部科学大臣賞 (全国学校体育研究最優秀校) 候補がない場合は「推薦なし」として扱う。
- ② 優良校の推薦数は、文部科学大臣賞 (全国学校体育研究最優秀校) を含め、各都道府県 3 校までとする。ただし、次の都道府県については、推薦数を以下に定める。
 - ア 東京都は 8 校まで (H26 年 4 月決定)、北海道は 6 校までとする。
 - イ 大阪府、神奈川県及び福岡県は 5 校までとする。
 - ウ 福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、新潟県、愛知県、静岡県、京都府、兵庫県及び鹿児島県

島県は4校までとする。

エ 当該年度に全国学校体育研究大会を開催する都道府県においては、上記の定めその他に1校を増やすことができる。

オ 複数校で共同研究する場合には校数を複数換算する。

カ ただし、提出期限の時点で、^{注3}各ブロック内に推薦校数を下回る都道府県が生じた場合には、学体連本部から速やかに当該ブロックの該当県推薦委員会委員長にその旨を連絡する。連絡を受けた該当県推薦委員会は、次点の学校を推薦ができるものとする。なお、次点を推薦できる都道府県は、アイウエを除いた3校推薦の県とし、該当県は各ブロックで毎年度1県1校とする。また、次点を推薦ができる県は、行政順とする。

そこで、3校推薦県で止むを得ず次点が生じた場合は、推薦書を提出する際に、予め次点の候補校の推薦書も含めて提出するようにする。

③ 功労者候補の推薦者数は、各都道府県3名までとする。ただし、次の都道府県については、推薦数を以下に定める。

ア 東京都は8名までとする。

イ 北海道は6名までとする。

ウ 大阪府、神奈川県及び福岡県は5名までとする。

エ 福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、新潟県、愛知県、静岡県、京都府、兵庫県及び鹿児島県は4名までとする。

オ 当該年度に全国学校体育研究大会を開催する都道府県においては、上記の定めその他に1名を増やすことができる。

カ ただし、提出期限の時点で、^{注3}各ブロック内に推薦者数を下回る都道府県が生じた場合には、学体連本部から速やかに当該ブロックの該当県推薦委員会委員長にその旨を連絡する。連絡を受けた該当県推薦委員会は、次点の候補者を推薦ができるものとする。なお、次点を推薦できる都道府県は、アイウエを除いた3名推薦の県とし、該当県は各ブロックで毎年度1県1名とする。また、次点を推薦ができる県は、行政順とする。

そこで、3名推薦県で止むを得ず次点が生じた場合は、推薦書を提出する際に、予め次点の候補者の推薦書も含めて提出するようにする。

注3；各ブロックとは、「全国学校体育研究大会開催基準要綱」に示す下表i～viの6ブロックのことを指す。

地区	ブロック	都 道 府 県	数
東部	i 北海道・東北	北海道、青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島	7
	ii 関東	茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川	7
中部	iii 甲信越・東海(1)	山梨 新潟 富山 石川 福井 長野、岐阜 静岡	8
	iv 近畿・東海(2)	滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山、愛知、三重	8
西部	v 中国・四国	鳥取 島根 岡山 広島 山口、徳島 香川 愛媛 高知	9
	vi 九州	福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄	8

第7 文部科学大臣賞（全国学校体育研究最優秀校）・優良校・功労者の選考・決定

1 文部科学大臣賞（全国学校体育研究最優秀校）

(1) 本会は、学識経験者等からなる文部科学大臣賞（全国学校体育研究最優秀校）審査会で選考し、

顕著な成果を上げている学校を最優秀校として文部科学大臣に文部科学大臣賞表彰の申請をする。選考の結果、選外となった場合は、優良校として表彰する。

(2) 選考結果は速やかに当該県推薦委員会並びに関係教育委員会に通知する。(8月中旬発送予定)

2 優良校、功労者

(1) 本会は、学識経験者等からなる中央審査会の選考・決定に基づき、優良校及び功労者を表彰する。

(2) 本会は、中央審査会における選考結果は速やかに当該県推薦委員会に通知する。

(8月中旬発送予定)

第8 表彰式等

1 表彰は、当該年度の全国学校体育研究大会の場において行う。

2 表彰式出席のための交通費等及び大会参加費（紀要代含む）並びに受賞者顕彰のための研究資料集代（3,000円）は、受賞校（者）負担とする。

3 推薦委員会は、予めこのことについて被推薦者の同意を得るものとする。

（同意を得ない推薦は、受理できない。平成28年度追記）

附則

本要項の改廃は、評議員会を以て行う。

以上

[要項改訂の記録]

平成13年7月30日施行

平成15年3月6日 平成16年1月13日、平成22年5月14日 改訂（常務理事会）

平成22年5月14日 表彰の名称を変更及び一部内容を注1～注12の項目として表記方法を変更。

平成25年、平成26年、平成27年に一部表記変更・追記。

平成30年4月10日 定款「第3条目的、第4条事業」の変更（平成29年11月7日評議員会決議事項）に基づき、要項第3の注1、第5・2の(5)の注2を追記。（理事会暫定措置）

令和元年10月15日 第6の1に追記。

『『体育授業優秀教員』の選考並びに表彰に関する規程』の『『体育授業優秀教員』の表彰に関する要項』への変更に伴い、文言を整理。

令和2年3月13日 第6の2(5)に追記。

令和元年10月30日評議員会・評議員意見を受けた、各県優良校・功労者次点推薦候補の取り扱いについて見直し・対応。（理事会暫定措置）

令和2年12月4日 第4に①を追記し、以下番号を②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩と下げる。

(3903 理事会決議)

令和3年7月9日 第6 推薦の手続き(4)⑧を追記（3906 理事会決議）

令和3年10月22日 第5 選考資料2(2)に「研究内容の在り方並びに研究の有効期間」、(6)を追記。
第5 選考基準3(6)に『学校体育』を補足した。（4901 理事会決議）

令和 4 年 月 日

公益財団法人日本学校体育研究連合会
会 長 友 添 秀 則 様

都道府県推薦委員会

委員長署名

(自署願います)

(FAX または PDF 送信をお願いします)

令和 4 年度 全国学校体育研究最優秀校・優良校・功労者
及び体育授業優秀教員推薦委員会委員名簿 (回答)学体連発 4-9 第 13 号 (令和 4 年 3 月 22 日付) により依頼のあった標記の件
について、下記の通り回答致します。

記

区分	氏名	勤 務 先 ・ 職 名
委員長		
委員		
委員		
委員		
委員		
委員		
委員		
委員		
委員		
委員		
委員		
連 絡 先	〒 TEL : FAX : E-mail : 担当者 職・氏名	

- ① 連絡先欄の担当者欄は、推薦委員会委員長が兼ねる場合は、委員長の連絡先を御記入ください。
- ② この文書には、委員長の自署欄がありますので、署名を保存した形で、FAX または PDF で送信してください。
- ③ 『体育授業優秀教員推薦委員会』を本委員会と兼ねず、別に設置する都道府県は、『体育授業優秀教員推薦委員会委員名簿』を添付してください。

公益財団法人 日本学校体育研究連合会

会 長 友添 秀則 様

都道府県 推薦委員会

都道府県番号
(学体連記入欄)

全国学校体育研究最優秀校・優良校・功労者推薦一覧

このことについて、下記の通り推薦致します。なお、推薦書等を別に添えます。

最優秀校（文部科学大臣賞）

学 校 名	校 長 名	体育主任名	成果の公表（県、市、町、村へ）		
			研究発表	研究紀要	新聞雑誌
ふりがな	ふりがな	ふりがな	(有・無)	(有・無)	(有・無)

優良校 ※本年度以前に優良校を受賞している場合は受賞年度をお書きください。 H R 年度)

番 号	学 校 名	校 長 名	体育主任名	成果の公表（県、市、町、村へ）		
				研究発表	研究紀要	新聞雑誌
	ふりがな	ふりがな	ふりがな	(有・無)	(有・無)	(有・無)
	ふりがな	ふりがな	ふりがな	(有・無)	(有・無)	(有・無)
	ふりがな	ふりがな	ふりがな	(有・無)	(有・無)	(有・無)
	ふりがな	ふりがな	ふりがな	(有・無)	(有・無)	(有・無)
	ふりがな	ふりがな	ふりがな	(有・無)	(有・無)	(有・無)
	ふりがな	ふりがな	ふりがな	(有・無)	(有・無)	(有・無)

※ 「優良校」「功労者」とともに、幼、小、中、高、特支の順でご記入ください。

功労者（学校体育の功労者） ※年齢は令和 5 年 3 月 31 日現在で記してください。

番号	氏 名	自宅住所 Tel・Fax	勤務先住所・勤務先名（職名）・Tel ご退職者は最終勤務校名を記入してください
	ふりがな 年齢（ ）歳	〒 Tel Fax	〒 () Tel
	ふりがな 年齢（ ）歳	〒 Tel Fax	〒 () Tel
	ふりがな 年齢（ ）歳	〒 Tel Fax	〒 () Tel
	ふりがな 年齢（ ）歳	〒 Tel Fax	〒 () Tel
	ふりがな 年齢（ ）歳	〒 Tel Fax	〒 () Tel
	ふりがな 年齢（ ）歳	〒 Tel Fax	〒 () Tel

注：表彰要項 第 8 表彰式等について御本人（当該学校）の同意を確認してください。

(4) 推薦書作成時の注意事項

		優良校	最優秀校	功労者	体育授業優秀教員
レイアウト	全体	A4版縦 余白全て20mm 紙面上部に校名・氏名枠, その下から2段組			
	段組み	校名・氏名枠下から2段組み 団幅22字 間隔 2字 段組み部分, 校名・氏名枠の下と本文の間1行分空ける			
校名・氏名枠	フォント	MS明朝体10.5pt 校名は18pt 校長名は12pt		MS明朝体12pt 氏名は18pt太字	
		電話番号・FAX.番号全角 住所の番号も全角 その他の英数字半角			
	校名ふりがな	ルビ機能使用 ひらがな 配置:均等割付2 オフセット:1pt サイズ:7pt		氏名の間1マス, 後に2マス空け(ふり がな)	
	枠の種類 大きさ	表枠を使用 枠線0.5pt テキストボックス不可 表幅170mm×高さ45mm		表枠を使用 枠線0.5pt テキストボックス不可 表幅170mm×高さ27mm	
	行間	行間固定値 15pt 校名行のみ 1.0		行間固定値 16pt 氏名行のみ 1.0	
本文	フォント	MS明朝体 10.5pt タイトル:MSゴシック体太字 数字全角 1マス空け タイトル以外の数字は原則半角			
	表記	常体使用(～である。)			
	行数 (ページ当たり)	22字×76行を目安 最低70行以上 76行以上は行間を調整		22字×80行を目安 最低70行以上 80行以上は行間を調整	
	内容	体育科教育の実践, 研究に関わる内容が中心			
		2年以上の研究	3年以上の研究	20年以上の関わり 55歳以上	10年以上の経験 35歳以上45歳以下
	注意事項	教科体育の実践・研究についてまとめる 個人名・私的固有団体名・書籍名・固有商品名等は一般的名称に書き換える 独自の表現・略称等は使用しない 学習指導要領等の表現を基準とする			
		地区合同・同一テーマ の研究であっても, 研究 主題への迫り方, 成果 等は異なるはず		学校保健に関する内容 は対象とはならない	二次審査の動画との関 連性も意識をして記述 する
				運動部活動に関する実 績, 役職履歴の記述に 偏らないように	

枠線 0.5pt 表幅 170 mm×高さ 45 mm
行間 固定値 15pt 校名のみ 1.0 行

余白 20mm

(A 4 版 2 枚とする)

最優秀校候補校推薦書(別紙形式1)の記載例

枠内全て明朝体 漢字校名18pt 校長名12pt 枠内の残り全て10.5pt ふりがな 均等割付2 オフセット1pt サイズ7pt

前1・後2文字分空け

まるまるけんまるまるぐんまるまるちょうりつまるまるしょうがっこう

□学校名□□○○県○○郡○○町立○○小学校□校長名□学体□太郎

□所在地□□〒000-0000□○○県○○郡○○市○○町1-1-1 全角 校長名は12pt

半角

TEL. 00×-1234-5678 全角

FAX. 00×-1234-5679 全角

E-mail メールアドレスをお持ちの場合記入 半角

URL ホームページを開設している場合記入 半角

(郡の表記や、市、町、村立の名称部分を含め、正式名称を確認する)「立」が入らない校名の場合は「立」を書かない

ここから2段組(段の間隔2文字)

1 □研究主題太字・ゴシック体(プロット名は変えないでく

ださい。

「□□ 研究主題 □□□□□□□□□□」

— □□ 副主題 □□□□□□ —

※当該年度及びそれ以前の過去3年以内の優良校ですか。

2 □研究の期間太字・ゴシック体(3年以上であること)

平成○○年度～令和○○年度□□○年間

数字は半角、2文字分空け

3 □研究の目的太字・ゴシック体

・何を明らかにしようとしたのか具体的に記載して下さい。

- ・タイトルはMSゴシック体 10.5P(数字は全角で)
- 数字・タイトル間1マス空け
- ・本文はMS明朝体 10.5P(数字は半角で)
- ・常体で表記する。(である。)

- ・2段組・1行空けを含め 22文字×174行以内(行間「固定値15pt」)を目安に。少なくとも156行以上 多い場合は行間を狭くし調整(フォントの文字間調整でも可)

段間隔
2文字分

1行空ける

・個人名・私的団体名等は使用しない。

○○大学◇◇教授 → 大学教授

・「ST」「UD」「G7」等独自の略称は使用しない。

4 □研究の方法・実践内容太字・ゴシック体

- ・どのような研究組織で、どのような研究の内容に取り組んだのかを年度ごとに具体的に記入して下さい。

余白
20m

余白
20m

余白
20mm

余白 20mm

[illegible]

5 研究の成果 **太字・ゴシック体**

[illegible]

- ・研究主題・研究仮説との関係を明確にしつつ，どのような研究成果があったのかを、具体的に記入して下さい。
- ・児童・生徒の変容を具体的に示すことも大切。

- ・ 画像、グラフ等を挿入する場合は、資料集印刷時に白黒印刷になること、データ容量の大きさを意識して下さい。

段間隔

2 文字分

[illegible]

6 □研究の意義、発展性太字・ゴシック体

[illegible]

A large grid of 200 empty boxes, arranged in 10 rows and 20 columns, intended for students to write their answers.

[illegible]

※3～6 までの各プロットの
行数は適宜、調整して下さい。

[illegible][illegible]

まるまるけんまるまるぐんまるまるちょうりつまるまるしょうがっこう
学校名 ○○県○○郡○○町立○○小学校 校長名 学体 太郎
所在地 〒000-0000 ○○県○○郡○○市○○町1-1-1
TEL. 03-3463-3954
FAX. 03-3463-7464
E-mail gakutairenn@msb.biglobe.ne.jp
URL http://www.gakutairen.jp/

1 研究主題

「 _____ 」

2 研究の期間

平成 _____ 年度～令和 _____ 年度 _____ 年間

3 研究の目的

4 研究の方法・実践内容

5 研究の成果

6 研究の意義、発展性

枠線 0.5pt 表幅 170mm×高さ 45mm
行間 固定値 15pt 校名のみ 1.0行

余白 20mm

(A4版1枚とする)

優良校推薦書(別紙形式2)の記載例

枠内全て明朝体 漢字校名18pt 校長名12pt 枠内の残り全て10.5pt ふりがな 均等割付2 オフセット1pt サイズ7pt

前1・後2文字分空け

まるまるけんまるまるぐんまるまるちようりつまるまるしょうがっこう

□学校名□□○○県○○郡○○町立○○小学校□校長名□学体□太郎

□所在地□□〒000-0000□○○県○○郡○○市○○町1-1-1 全角 校長名は12pt

半角

TEL. 00×-1234-5678 全角

FAX. 00×-1234-5679 全角

E-mail メールアドレスをお持ちの場合記入 半角

URL ホームページを開設している場合記入 半角

(郡の表記や、市、町、村立の名称部分を含め、正式名称を確認する)「立」が入らない校名の場合は「立」を書かない

ここから2段組(段の間隔2文字)

1 □研究主題太字・ゴシック体(プロット名は変えないでく

ださい。

「□□ 研究主題 □□□□□□□□□□」

— □□ 副主題 □□□□□□ —

2 □研究の期間太字・ゴシック体 (2年以上であること)

平成○○年度～令和○○年度□□○年間

数字は半角、2文字分空ける

3 □研究の目的太字・ゴシック体

- ・タイトルはMSゴシック体 10.5P(数字は全角で)
数字・タイトル間1マス空け
- ・本文はMS明朝体 10.5P
(数字は半角で)
- ・常体で表記する。(である。)

- ・2段組・1行空けを含め
22文字×76行以内(行間「固定値
15pt」を目安に。少なくとも70行以上
多い場合は行間を狭くし調整(フォント
の文字間調整でも可)
- ・画像、グラフ等を挿入する場合は、資料
集印刷時に白黒印刷になること、デー
タ容量の大きさを意識する。

段間隔
2文字分

4 □研究の実践内容太字・ゴシック体

- ・行事・イベントを羅列すること
なく、教科体育(指導の工夫等)の研究実践を文章表現
する。

1行空ける

- ・個人名・私的団体名等は使用しない
○○大学◇◇教授 → 大学教授

- ・「ST」「UD」「G7」等独自の略
称は使用しない。

- ・同一地区内・同一テーマの研究であ
っても、研究主題への迫り方等異な
るはず。そのため、優良校としての
特色を明記する。

5 研究の成果太字・ゴシック体

- ・研究主題・研究仮説との
関係を明確にしつつ成
果を示す。
- ・児童・生徒の変容を具体
的に示すことも大切。

6 □今後の課題太字・ゴシック体

余白
20mm

余白
20mm

余白 20mm

学校名	まるまるけんまるまるぐんまるまるちょうりつまるまるしょうがっこう 〇〇県〇〇郡〇〇町立〇〇小学校		校長名	学体	太郎
所在地	〒000-0000 〇〇県〇〇郡〇〇市〇〇町1-1-1				
	TEL.	03-3463-3954			
	FAX.	03-3463-7464			
	E-mail	gakutairenn@msb.biglobe.ne.jp			
	URL	http://www.gakutairen.jp/			

1 研究主題

「
— —

2 研究の期間

平成 年度～令和 年度 年間

3 研究の目的

5 研究の成果

4 研究の実践内容

6 今後の課題

□○○県

枠内全て明朝体 漢字の名前のみ18pt 枠内の残り全て12pt

名前はセンタリング

功労者名□□学体 花子□□ (がくたい はなこ)

2文字分空ける

(例えば斉藤・齋藤・斎藤などの表記の確認をする)

ここから 2 段組 (段の間隔 2 文字)

1 行空ける □□□。

1 ☐ **研究業績**太字・ゴシック体（学校体育に関する業績をお書きください。）プロット名は変えないでください。

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

- ・ 常体で表記する。(である。)
- ・ 本文はMS明朝体 10.5P
(数字は半角で)
- ・ タイトルはMSゴシック体
10.5P (数字は全角で)
数字・タイトル間1マス空け

- ・ 2 段組・ 1 行空けを含め
22文字×80行以内（行間「固定値
16pt」）を目安に。少なくとも70行
以上 多い場合は行間を狭くし調
整

- ・教科体育（指導の工夫等）、部活動に関する業績を文章表現する。
☆部活動への貢献だけの記述の場合、表彰の対象外となる。

- ・ 個人名・私的団体名・書籍名等は、使用しない。
 ○○大学◇◇教授 → 大学教授
 (株)○○より自著「△△」を出版
 → □□に関する著書を上梓

- ・「ST」「UD」「G7」等独自の略称は使用しない。

西暦ではなく元号を用いる。数字は半角

2 学校体育研究団体における活動および役員等の略歴研究の成果太字・ゴシック体

- ・表彰の対象となる具体的な研究功績を記す。
団体の役職等の履歴を列記するだけの記述の場合は表彰の対象外となる。

フォントを大きくしたり、行間を広げたり、空けたりしないようにしましょう。

行頭・行末を揃える。
2行になっても可

太字・ゴシック体

3 勤続年数 35 年 (3 マス空けて半角明朝体)

☐☐☐☐☐☒ 1行空ける ☐☐☐☐☐☒

4 ☐ 教職の略歴 (学歴は不要 教育委員会等行政歴含む)

昭和 50 年	〇〇市立〇〇小学校教諭
昭和 55 年	〇〇市立△△△小学校教諭
昭和 60 年	〇〇市立□□小学校教諭
平成元年	〇〇市立〇〇小学校主任教諭
平成 10 年	〇〇市立△△△小学校教頭
平成 15 年	〇〇市立◇◇小学校校長

〇〇県

功労者名 学体 花子 (がくたい はなこ)

1 研究業績

2 学校体育研究団体における活動および役員等の略歴研究の成果

3 勤続年数 35 年

4 教職の略歴

昭和 50 年	〇〇市立〇〇小学校教諭
昭和 55 年	〇〇市立△△△小学校教諭
昭和 60 年	〇〇市立□□小学校教諭
平成元年	〇〇市立〇〇小学校主任教諭
平成 10 年	〇〇市立△△△小学校教頭
平成 15 年	〇〇市立◇◇小

(8) - ① 推 薦 の 数

都道府県	優良校推薦数	都道府県	功労者推薦数
東京都	8 校以内	東京都	8 人以内
北海道	6 //	北海道	6 //
大阪府	5 //	大阪府	5 //
神奈川県	5 //	神奈川県	5 //
福岡県	5 //	福岡県	5 //
福島県	4 //	福島県	4 //
茨城県	4 //	茨城県	4 //
埼玉県	4 //	埼玉県	4 //
千葉県	4 //	千葉県	4 //
新潟県	4 //	新潟県	4 //
静岡県	4 //	静岡県	4 //
愛知県	4 //	愛知県	4 //
京都府	4 //	京都府	4 //
兵庫県	4 //	兵庫県	4 //
鹿児島県	4 //	鹿児島県	4 //
上記以外の県	3 //	上記以外の県	3 //

* 全国大会を開催する都道府県においては、上記のほか、優良校と功労者候補をそれぞれ 1 校、1 名を当該年度に加えることができる。

(8)-② 令和4年度 全国学校体育研究

最優秀校(文部科学大臣賞)並びに優良校及び功労者の表彰の審査及び表彰事務進行日程

- 1, 3月22日(火) 表彰要項等 各都道府県会長及び各都道府県主管課長宛送信
- 2, 4月 要項等、評議員送付
- 3, 4月下旬 中央審査会・最優秀校審査会審査委員委嘱
- 4, 6月27日(月) 都道府県からの推薦関係文書提出締切日
(優良校、功労者、最優秀校審査用資料を含めすべて)
(7月中 → 提出書類の書面等確認期間 → 文書の修正、追加提出等要請)
- 5, 7月31日(日) 10:00~ 中央審査会(優良校・功労者)
(会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター内 307 室)
- 6, 7月31日(日) 13:30~ 最優秀校(文部科学大臣賞) 審査会
(会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター内 307 室)
- 7, 8月中旬 都道府県推薦委員会に中央審査会並びに最優秀校審査会の
結果通知発送
- 8, 9月上旬 受賞校(者)に表彰式案内状を発送(出欠調査のハガキ含む)
「研究資料集」(受賞者業績紹介集)等の印刷 発注
- 9, 10月3日(月) 最優秀校・優良校・功労者の表彰式への出欠席回答 締切
- 10, 10月下旬 「全国学校体育研究資料集」(受賞者業績紹介集)を都道府県及び
受賞校(者)宛に発送
(作成実費一部負担: 受賞者(校)に 3,000 円納入のお願いを同封)
- 11, 11月10日(木) 表彰式: 第61回全国学校体育研究大会(滋賀大会)全体会席上

※ 表彰式を含め、新型コロナウイルスへの対応により、日程等を変更する場合があります。
変更があった場合は、本会ホームページ等でお知らせいたします。

以上

(9) 最優秀校・優良校・功労者表彰に関するチェックリスト

審査を適切に行うため、下記のチェックリストにチェックを入れ、推薦書とあわせて提出してください。
なお、推薦にあたっては「表彰要項」を必ず参照してください。

項目	細目	チェック欄
1.推薦母体	1.各都道府県の学体連は、各都道府県教育委員会と協議して、 推薦委員会 を設置している。	
	2.推薦にあたっては、 推薦委員会 で協議し、最優秀校・優良校・功労者候補を決定している。	
2.選考基準	1.最優秀校の推薦に当たっては、3年間の研究期間における各年度ごとの研究紀要など、研究実績を裏付ける資料を提出している。(3年分の提出がない場合は対象外となります)	
	2.優良校は、推薦される年度を含めて2年以上にわたり、学校体育に関する研究・実践を行っている。また、過去に受賞されたことのある学校については、過去の受賞後、 満10年以上が経過している 。	
	3.功労者の推薦書は、 体育科教育への功績 について記述している。 (運動部活動の指導実績や役職履歴の記述に偏した記述ではないこと)	
	4.推薦数は、要項に定められた学校数や人数以内であること。	
	5.学校保健のみに関する業績並びに 養護教諭の表彰 については、別の表彰制度があることを承知している。(表彰要項第6(3)注15参照)	
3.表 記	1.学校名は、略称や通称名ではなく、 正式名称 であることを確認している。	
	2.推薦書は、別紙様式1～3に従って作成している。 指定様式の9割以上の記載がある 。 また、提出した推薦書は、「研究資料集」の原稿として印刷・製本され、全国に配布されることを了承している。	
	3.本文の文体は、 常体 で記されている。また、「て・に・を・は」など、助詞の誤字・脱字・漢字変換ミス等がないか確認している	
4.本人同意	1.「表彰式への出席に関わる諸経費」及び「大会参加費;5000円(予定)」「受賞者の業績を顕彰する研究資料集代;3,000円」については、 受賞校(者)の負担 であることを受賞校(者)自身が同意している。	

都道府県

チェックリスト記載者 (役職)

(氏名)